

# 2024 神戸大学附属中等教育学校

Kobe University Secondary School

—Education for 2070—

自治・協同・創造



## 生徒会長から

皆さんこんにちは。第11代生徒会会長の竹内宏です。神戸大学附属中等教育学校は様々な場面で生徒の力が垣間見える学校となっており、本校の校訓である「自治・協同・創造」を体現しています。まず「自治」とは、自分たちで治めると書かれていますが具体的にどのような活動のことなのでしょうか。例えば、下に実行委員長が説明しているような兔原祭・体育祭・音楽祭などの本校の学校行事の多くは生徒が中心となって運営を行っています。生徒の自治は生徒会活動だけではありません。リーダー学習という授業開始後5分間の時間で生徒がミニ授業を行ったり、小集団学習で議論を行ったりなど本校にしかないものがたくさんあります。

このような生徒主体の「自治」というのは、学校制度を変えられるほど強い力を持っていますが、もちろん1人で行うことは出来ませんよね。そこで2つ目の「協同」です。先ほどあげた生徒会活動や、それ以外の教科リーダー学習や部活動・同好会活動、GCCやASTAの活動、これらの枠組みに収まらない多種多様な活動は同級生・先輩・後輩はもちろんのこと、先生方や保護者の方々と一緒に活動を行っています。本校の自治はこの「協同」がなければ成り立ちません。「協同」をするようになれば次は「創造」をする時です。新たなものを創造してこそその自治になります。本校の3つの大きな生徒会行事「兔原祭・体育祭・音楽祭」は毎年様々な「創造」がされています。

コロナ禍を経て本校生徒会は校内での電子機器利用を可能にしたり、制服と私服を各々が選択できるようにしたりなど学校生活の根幹に関わる部分の改定を進めてきました。これらは全て生徒自らが変えたいと思ったことであり、変えるまでの道のりは決して簡単ではないですが、必要十分な改定は教員・保護者ともに認めてくれる環境もあり、今日まで革新を続けることができます。



## 兔原祭実行委員長から

第11回兔原祭実行委員長の神山美優音です。兔原祭(とげんさい)とは毎年5月に行われる本校の文化祭のことであり、その名前は旧地名の兔原(うはら)に由来しています。兔原祭ではお化け屋敷やジェットコースター、演劇など多種多様な学年企画、部活動によるパフォーマンスそして屋外ステージではダンスやバンドなどが行われます。三大祭で唯一校内関係者以外も参加できる行事ということもあり、たくさんの方が訪れ、楽しんでいる様子はまさにお祭りです。また生徒にとっての兔原祭は単なる楽しい祭りというものというわけではなく、成長の機会ともなります。企画から制作、運営そして片付けまでリーダーを中心に生徒が主体となって進めることで、実現性の追求や会計処理などを行う必要があり、貴重な経験となります。もちろん、そのどれもを楽しんで行えるのが中等生の凄さであり、兔原祭を高めるものとなっています！



## 体育祭実行委員長から

第11回体育祭実行委員長の高原凛です。本校体育祭は数年前に前期後期合同開催に形態を変えた、三大祭の中で最も歴史の浅い行事です。例年王子スタジアムで開催され、非日常を感じられる祭りとなっています。紅白対抗に加え、前期後期それぞれのMVPクラスの表彰もあり、各クラスの団結だけでなく学年を超えた団結を感じることができます。他行事と同様に、体育祭も競技ルールの考案・決定、プログラム作成、当日の運営、会計管理など全て生徒からなる実行委員会が行なっています。毎年実行委員長が変わるため、過去の形態を引き継ぎつつ、競技内容や組の分け方を新チームで練り直します。煮詰まり悩むことももちろんありますが、生徒主体で運営する楽しさや達成感は中等だからこそ経験できるものだと思います。毎年成長していく本校の体育祭をぜひ楽しんでください。



## 音楽祭実行委員長から

2022年度音楽祭実行委員長の中西伶奈です。本校では秋に学校外のホールで音楽祭があり、毎年1～5年生がクラス合唱で競い合っています。音楽祭では、1年生のかわいらしい歌声から4年間合唱をしてきたレベルの高い5年生の歌声まで幅広いジャンルの合唱を楽しむことができます。またクラス合唱だけでなく、選択授業で音楽を選んだ4年生によるステージもあり、生徒主体で考案しているため、本格的な合唱からポップスまで毎年学年の個性が出ています。本校コーラス部、吹奏楽部の演奏もあり、合唱だけでなく様々なジャンルの音楽に触れることができます。この音楽祭もテーマ決めから運営まで生徒主体で動いています。音楽祭を通してたくさんの貴重な経験を得ることができました。クラスみんなで1つになって音楽を作るのは青春そのものですね。



## 附属中等での生活

### 授業中の様子



国語(1年)



英語(1年)



探究英語(5年)



地理探究(5年)



理科(1年)



理科(6年)



DS I (4年)



理数数学特論(6年)

### 放課後の様子



生徒会執行部



ASTA



KPの実験



KPの実験



科学甲子園 (有志)

サッカー部 卓球部 テニス部 バスケットボール部 陸上競技部  
バレーボール部  
科学研究部 コーラス部 吹奏楽部 美術部 家庭科研究部 演劇部  
ESS部 PC部 文芸同好会 アンサンブル同好会  
ESDフードプロジェクト DR3 (GCC)  
ASTA

競技数学班 物理班 化学班 生物班 地学班 情報班 語学班  
地理班 歴史班 クイズ班 漢字班 線形代数班 鉄道班 航空班  
音楽班 茶道 経済経営班 古典班 DS班

# スーパーサイエンススクール (SSH)

本校は令和2(2020)年度～令和6(2024)年度までスーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定されています。本校教育に「サイエンス」という新たな軸が加わることとなりました。

「生涯を通じて新たな価値を創造し続ける文理融合型人材の育成—Education for 2070—」を研究開発課題として、育成を目指す生徒像を「生涯を通じて新たな価値を創造し続ける文理融合型人材」と位置づけています。50年後に向けた社会の創り手となる、「持続可能な開発のための科学技術イノベーション(Science, technology and innovation for sustainable development, STI4SD)」を担う人材を育成するカリキュラムを、SSH事業を通じて教育活動全体で取り組んでいきます。



## ● 研究開発の単位

### A. 「Kobe ポート・インテリジェンス・プロジェクト (KP)」

総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間において、1年および2年は小集団単位で探究に係る力の基礎を培う「課題研究入門」を、3年から6年は個人研究を異学年協同ゼミで行う「課題研究」を履修させる。

### B. 「Education for 2070 学校設定科目」

領域協働的な科目、またそれを補完する高度な理数教育を行う科目を設置する。

### C. 「Future Innovator Training (FIT)」

交流校訪問等の海外研修やジオパーク&エコパーク研修など、豊富な体験プログラムを準備する。

### D. 「Advanced Science and Technology Academy (ASTA)」

国際科学技術コンテスト等に向けた、理数に係る高度な学習を行う生徒の自治的コミュニティを設置する。

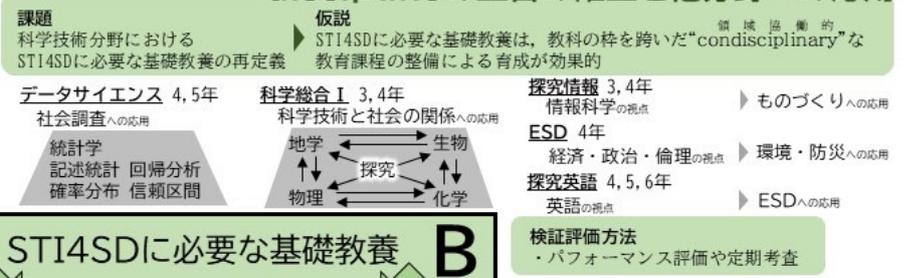
## ● SSHの概略

### Kobeポート・インテリジェンス・プロジェクト



### Education for 2070 学校設定科目

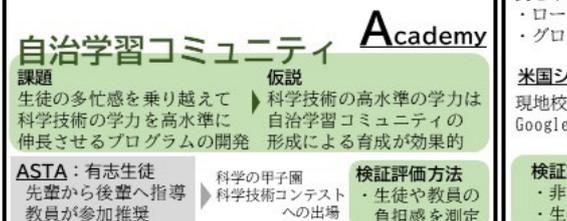
#### disciplineの土台の確立と他分野への応用



### A STI4SDに必要な基礎教養 B



### D 科学技術の高水準な学力 C



# 教育課程表

課程 時期区分 学年 教科	前期課程			後期課程					
	基礎期		充実期			発展期			
	1年	2年	3年	4年		5年		6年	
			必履修	選択履修	必履修	選択履修	必履修	選択履修	
国語 420	国語 140	国語 140	国語 140 1単位分移行 (言語文化)	現代の国語 2 言語文化 2		論理国語 2 古典探究 2	選択③ 文学国語 1	論理国語 2 古典探究 2	選択⑦ 文学国語 2
社会 385	社会 105	社会 140	社会 140 1単位分移行 (公共)	地理総合 2 歴史総合 2 ESD 1			選択④ 地理探究 3 日本史探究 3 世界史探究 3		選択⑧ 地理探究 3 日本史探究 3 世界史探究 3
数学 420	中等数学Ⅰ 140	中等数学Ⅱ 140	中等数学Ⅲ 140 1単位分移行 (基幹数学)						
理科 455	科学総合 140	科学総合 140	科学総合 175 2単位分移行 (科学総合Ⅰ)	科学総合Ⅰ 4			選択⑤ 科学総合Ⅱ 2		選択⑦ 科学総合Ⅱ 2
芸術 240	音楽 50 美術 50	音楽 35 美術 35	音楽 35 美術 35		選択① 音楽Ⅰ 2 美術Ⅰ 2				
保健体育 315	保健体育 105	保健体育 105	保健体育 105	体育 2 保健 1		体育 2 保健 1		体育 3	
技術・家庭 情報 245	探究情報・家庭 70	探究情報・家庭 105	探究情報・家庭 70 2単位分移行 (探究情報) (家庭基礎)	探究情報 1		家庭基礎 1			
外国語 420	英語 140	英語 140	英語 140	探究英語Ⅰ 3 論理・表現Ⅰ 2		探究英語Ⅱ 4 論理・表現Ⅱ 2		探究英語Ⅲ 4 論理・表現Ⅲ 2	
理数				基幹数学 4 DSⅠ 1		理数数学Ⅱ 3 理数数学特論 2 DSⅡ 1	選択③ 理数数学Ⅱ 1 選択④ 理数化学 3 選択⑤ 理数物理 2 理数生物 2	理数数学Ⅱ 4 理数数学特論 2	選択⑦ 理数物理 4 理数生物 4 選択⑧ 理数化学 3
道徳 総合的な学習 探究の時間	道徳 35 KP 75 (課題研究入門Ⅰ 70)	道徳 35 KP 70 (課題研究入門Ⅱ 70)	道徳 35 KP 70 (課題研究Ⅰ)	KP 2 (課題研究Ⅱ)		KP 2 (課題研究Ⅲ)		KP 1 (課題研究Ⅳ)	
特別活動	LHR 35	LHR 35	LHR 35	LHR 1 (1~8)	選択② 高大連携	LHR 1 (1~8)	選択⑥ 高大連携	LHR 1 (1~8)	選択⑨ 高大連携
合計	1085	1120	1120	32 (33~40)		32 (33~40)		31 (32~39)	

☆ 前期課程は「時間数」、後期課程は「単位数」で表示 ☆ 太字・斜体は学校設定科目。青字はSSHによる特例措置

☆ 「KP」は本校における「総合的な学習の時間」・「総合的な探究の時間」の名称「Kobeポ-ト・インテリジェンス・プロジェクト」の略

☆ 「DS」は「データサイエンス」の略称

☆ 「高大連携」は大学での履修内容を含む

☆ 太字は、後期課程の科目内容の一部を、前期課程に移行し履修する教科。カッコ内は移行対象科目

☆ 4年時の選択

選択① 「音楽Ⅰ」又は「美術Ⅰ」を選択

選択② 希望者のみ選択。「高大連携」は大学が開講する科目を履修することを含む

☆ 5・6年時は、「人文・社会科学」又は「自然・生命科学」類型に所属

☆ 5年時の選択 所属する類型並びに地歴及び理科又は理数に関する選択は、原則として6年時も継続

選択③ 人文・社会科学類型は「文学国語」を選択 自然・生命科学類型は「理数数学Ⅱ」を選択

選択④ 人文・社会科学類型は地歴2科目を選択 自然・生命科学類型は地歴1科目と「理数化学」を選択

選択⑤ 人文・社会科学類型は「科学総合Ⅱ」を選択 自然・生命科学類型は「理数物理」又は「理数生物」を選択

選択⑥ 希望者のみ選択。「高大連携」は大学が開講する科目を履修することを含む

☆ 6年時の選択 所属する類型並びに地歴及び理科又は理数に関する選択は、原則として5年時の選択を継続

選択⑦ 人文・社会科学類型は「文学国語」及び「科学総合Ⅱ」を選択 自然・生命科学類型は「理数物理」又は「理数生物」を選択

選択⑧ 人文・社会科学類型は地歴2科目を選択 自然・生命科学類型は地歴1科目と「理数化学」を選択

選択⑨ 希望者のみ選択。「高大連携」は大学が開講する科目を履修することを含む



教育課程

# Kobe ポート・インテリジェンス・プロジェクト (KP)

1年から6年の各学年の「総合的な学習の時間」および「総合的な探究の時間」で探究活動を実施しています。

1年および2年は、同一学年での探究によりゼミナールの参加に要求される探究技能の育成を図っています。3年から6年は、4学年の生徒を分野ごとに縦割りにしたゼミナールを編成し、生徒個々の関心に沿ったテーマを選択して個人単位での課題研究に取り組みます。

6年間を通して「見つける力」「調べる力」「まとめる力」「発表する力」に加えて、これら4つの力を統合する「考える力」の「4+1の力」を育成します。



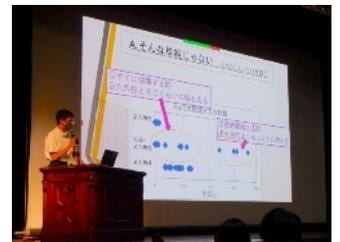
## 6年間一貫したリサーチリテラシーの育成

6年生

### 課題研究 (卒業研究)

自身の興味・関心に従って探究手法を自分自身で考えて、一人ひとりがポスターと論文を作成する。

ゼミナール形式で学年の枠を超えた縦のつながりで生徒が主体的に授業を進行していく。



卒業研究優秀者発表会



異学年合同協同ゼミ



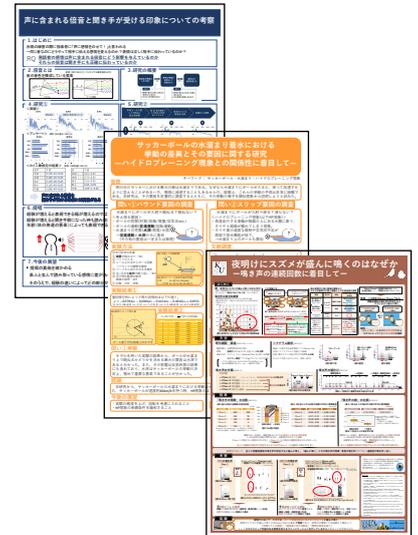
3456KP講演会



SSラボ・探究ラボ



KP合同発表会



生徒の研究ポスター

5年生

4年生

3年生

2年生

1年生

### 課題研究入門

身近な地域やテーマについて体験的な小集団学習をベースとしてリサーチリテラシーの基礎を学ぶ。



成果発表会



異文化理解フィールドワーク



神戸フィールドワーク



小集団学習

## 2023年度卒業研究優秀者 論文タイトル

レジ袋で弁当箱を持ち運ぶと弁当箱が傾く原因
これからの社会に求められるショッピングセンターとは ー神戸・阪神地域の消費生活をもとにー
アルボウイルス感染症の国内での発生リスク ーウイルスの侵入・定着から考えるー
より効果的な船の「いかり」とは
地域食堂による子どもの食生活課題の解決策の提案
金融教育に関する高校生の金融リテラシーを向上させる指導計画の提案 ー本校5年生の資産運用の知識の現状から考察するー
Estimation of the Black Carbon Hastening Effect on Cryospheric Melting
エラー正規化処理なしの完全準同型暗号の利用可能性 ー計算可能回数および要因の調査と学力試験への応用ー

本校では、毎年7月に神戸大学出光佐三記念六甲台講堂において、6年生8名による卒業研究優秀者発表会を行っています。優秀者発表会の司会・進行も生徒（6年生）が行います。

2023年度の卒業研究優秀者発表会の模様は右のQRコードからご覧いただくことができます。



## KPについて中等生に質問！

KPのテーマはどのようにして見つけたのかを教えてください。

部活を通して「歌い手が変わったら同じ曲でも聞き手の印象が変わるのでは」という仮説をずっと持っていて、わかったら自分の歌の活動にもプラスになるなと思いこれを問いにしました。

スズメのことが好きで、スズメのことをもっと知りたいと思ったからです。

KPに取り組んでよかったと感じたことを教えてください。

色んな人との出会いを得られたことです。校内の先生や生徒との関わりが増えたのはもちろん、様々な学会発表やシンポジウムを通して学校外の友達ができました。意識の高い同世代の人たちの話を聞くのはとても刺激的だったし、自分の考えを語り合える人がいるのはとても嬉しかったです。また、いろいろな分野で活躍している方々に出会う機会も多く、その出会いを通して自分の世界の見方や将来の視野が本当に広がりました。自分が思ってもいないような世界で活動している人がたくさんいて、「そんな選択肢もあるのか…！」と思うことばかりでした。

ポスターやスライドを作って学会で発表するのですが、そこで参考文献や本で見たような研究者の方々に会えたり、鳥トークできたりするところです。

KPに取り組んでいて大変だったところを教えてください。

騒音が入らず、スズメの鳴き声を綺麗に録音できるように時間や場所、録音機材を工夫することが大変でした。

KPの感想を教えてください。

KPが私の視野を大きく広げてくれたと感じています。大変なことも多かったのですが、ひとつひとつやることを乗り越えて行くと、それが大きな自信に繋がりました。素敵な出会いもたくさんあって、小さな問いがここまで大きくなったことをとても嬉しく思っています。

## 卒業生より



### 西村 茉莉さん 神戸大学経営学部

本校での6年間の学びは、私を精神的に大きく成長させてくれました。日々の授業では、小集団活動などの生徒同士の対話、議論が多く行われます。同級生の多様な価値観に触れることで、より一層私自身の考えや意見を深めることができました。また本校のKPをはじめとした活動では、自分の興味関心、やってみたいことを追求できる環境が整えられています。私はKPで金融教育をテーマに研究を行いました。興味がある分野の探究活動は、将来について深く考えるきっかけとなりました。

それぞれの生徒が部活動、行事運営、留学など異なる活動に力を入れており、同じ6年間でも生徒によって全然違う日々を過ごしていたように思います。しかし、常に努力している仲間たちを見て、負けたくない、自分も頑張ろう、と良い刺激をもらうことができました。生徒一人一人の個性を尊重し、興味に没頭できる雰囲気や環境は、本校の生徒や先生が育ててきた特別なものです。6年という限られた時間でも本校でできることは無限にあります。ぜひ色々なことに挑戦してみてください。



### 道盛 宏太さん 一橋大学法学部

この学校で学べたことは何かと考えると、それはひとえに自分を見つける力であると思います。この学校では、部活動、勉強、学校行事など、そのどれもが強制されることはありません。「自由」という言葉が似合う学校だと思います。最低限の勉強をこなしつつ部活動に打ち込んだり、勉強で培った能力を学校行事の運営に生かしたりすることもできます。ただしそれは、自分でやりたいことを見つけなければいけないということの裏返しでもあります。私は在学中、所属する部活動の方針を考え、学校行事で自分ができるとは何かののだろうか、悩み、テスト前日に試験範囲を詰め込む日々を送っていました。充実した日々ではありましたが、進む道はあっているのか、自問自答することは少なからずありました。ですが、この学校にいる人は皆多かれ少なかれそうした悩みを抱えています。先生や友人に相談すれば、明確な答えは出ないとしても必ず一緒に考えてくれることでしょう。この学校でぜひ、あなただけが見つけれられるあなたを探してみてください。



### 小川 千遙さん 京都大学工学部

本校で過ごした6年間は、自分の興味のあることを見つけ、さらにそれを存分に突き詰めることの出来る自由な時間でした。私はふと参加した学術系コンテストがきっかけで統計を用いた研究に熱中していましたが、本校は授業外に自主的な勉強会があったり高大連携授業で高度な学びを得られたりなど自分の興味・関心に没頭する機会が溢れていたため、学びを深く探究することが出来ました。また、周りの友人の活動もKPを通じた研究、兔原祭・体育祭・音楽祭の実行委員、ASTAや部活動、海外留学など幅広く大変刺激的なものでした。それは十分な環境や私たちの探究心を尊重して下さる先生方のおかげだけではなく、積極的に学びを得て関心を深めていこうとする雰囲気が常に生徒間にもあったからではないかと思えます。まだ自分の興味のあることややりたい事があまいでも、本校での6年間を通してきっと突き詰めたい事が見つかるはず。自分の好奇心に積極的に向き合い、本校での幅広い学びを楽しんでください。

## 卒業生進路状況・主な合格先

※合格者数は総数、( )内は過年度生、[ ]内は総合型・学校推薦型選抜の内数

	10回生進学先		
	男	女	計
国立大学	28	24	52
公立大学	1	4	5
私立大学	9	6	15
進学準備	17	16	33
卒業生数	54	51	105

国公立大学	合格者数
神戸	18 ( 7 ) [ 5 ]
東京	4 ( 2 ) [ 1 ]
京都	7 ( 2 ) [ 2 ]
大阪	15 ( 1 ) [ 9 ]
北海道	3 ( ) [ ]
東北	2 ( ) [ ]
東京工業	1 ( ) [ ]
一橋	2 ( ) [ ]
国立大学	82 (23) [21]
公立大学	20 (11) [ 3 ]

国公立医学科	合格者数
神戸	2 ( ) [ 1 ]
山形	1 ( 1 ) [ ]
大阪	2 ( ) [ 1 ]
鳥取	2 ( 1 ) [ ]
岡山	3 ( 1 ) [ ]
広島	1 ( 1 ) [ ]
徳島	1 ( ) [ ]
長崎	1 ( 1 ) [ ]
奈良県医	1 ( ) [ ]

私立大学	合格者数
慶應義塾	4 ( 3 )
早稲田	3 ( )
同志社	18 (10)
立命館	27 (19)
関西	16 ( 8 )
関西学院	41 (14)
私立医学科	合格者数
自治医科	1 ( )
大阪医薬	2 ( 2 )
関西医科	3 ( 1 )
近畿	2 ( 2 )
防衛医科	1 ( )



## 神戸大学附属中等教育学校

〒658-0063

神戸市東灘区住吉山手5丁目11番1号

<https://www.edu.kobe-u.ac.jp/kuss-top/>

阪急御影駅 神戸市バス19・39系統 15分

JR住吉駅 神戸市バス39系統 20分

神大附属前下車



神大附属中等ホームページ